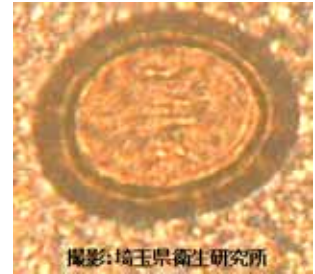


エキノкокクスをご存じですか？

エキノкокクスとは、

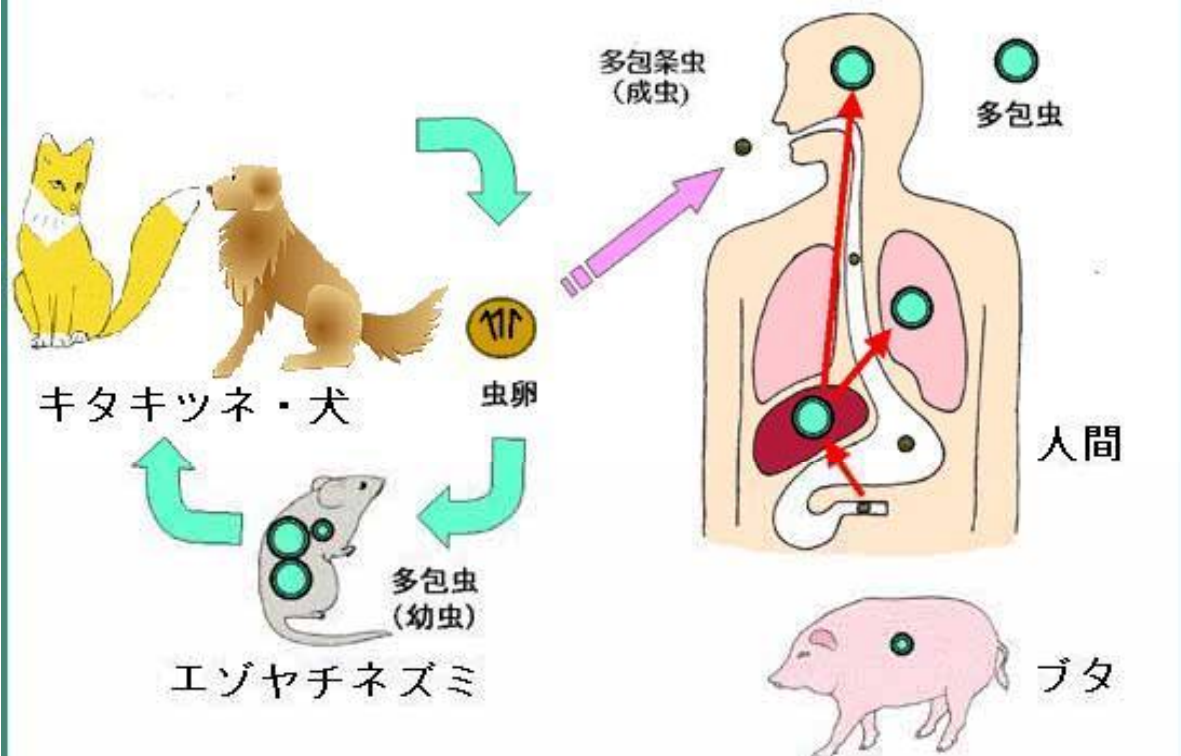
エキノкокクスとは、もともとは北海道のキタキツネにいる寄生虫の名前です。この寄生虫の親虫は、キツネの小腸に住んでいて卵を産み、それが糞に混じってキツネの体の外に出ていきます。エキノкокクスはキツネ以外にも犬に感染し、卵が犬の糞に混って排出されます。この虫卵をヒトが間違っって飲み込むとエキノкокクス症にかかります。エキノкокクスはヒトの体の中では主に肝臓や肺に住み着き、重い障害を引き起こすことがあります。(現在、日本国内で、北海道以外のエキノкокクス流行地は認められていません。)



エキノкокクスの感染サイクル

北海道では、野外でエキノкокクスの虫卵がエゾヤチネズミ(野ネズミ)の口に入り、その体内で幼虫へとなります。このエゾヤチネズミをキタキツネや犬が食べることにより、キタキツネや犬の腸内にエキノкокクスの幼虫が入り込み、成虫へと成長します。成虫となったエキノкокクスはキタキツネや犬の腸内で卵を産み、糞便に混じって、体外へと虫卵が出ていきます。エキノкокクスの虫卵がヒトの手指などに付き、間違っって口に入ると、ヒトもエキノкокクスに感染し、肝臓や肺臓に移行します。(エゾヤチネズミの体内にいるのは幼虫で卵を産みませんので、ヒトへの感染の心配はありませんが、沢水等にはキタキツネの糞便由来の虫卵が混じっている可能性がありますので飲まないようにしましょう。)

エキノкокクス症の感染経路



飼い犬もエキノコックスに感染します。

最近の調査により、北海道で飼われている犬の1～3%がエキノコックスにかかっていることがわかりました。
犬はエゾヤチネズミなどの野ねずみを捕まえて、食べることによってエキノコックスに感染します。
北海道の野外で放し飼いされている犬は感染の可能性が高いといえるでしょう。

北海道に犬を連れて旅行される方へ

季候が良くなり、旅行を計画されていらっしゃる方も多いと思います。のびのびとした北海道の大地に愛犬を連れて行き、思いっきり遊ばせようと考えていらっしゃる方にお知らせしたいことがあります。
現在、北海道の野外で犬を放すと、その犬がエキノコックスという寄生虫に感染する可能性があり、さらに犬の糞便を介して、ヒトにもエキノコックスが寄生するかもしれません。

犬を放すことはやめましょう。

拾い食いをさせないためにも放し飼いはやめましょう。
人や家畜等への危害や糞による迷惑を防止するため、飼い犬の放し飼いは、埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例第8条で禁止されています。

あなたの犬がエキノコックスに感染しているか心配な方へ

最近、北海道へ犬を連れて行き、愛犬がエゾヤチネズミを食べた等、エキノコックスに感染する機会があったと不安に感じられる方は獣医師に相談しましょう。
エキノコックスに対しては駆虫薬がありますので、獣医師の指示のもと駆虫することができます。
なお、エキノコックスの流行は日本国内では北海道以外は認められていません。
また、**動物由来感染症を予防するために、ペットと接触した後は必ず手を洗い、えさの口移しはやめましょう。**

埼玉県 保健医療部 生活衛生課
動物指導担当

TEL : 048 - 830 - 3612 (直通)

FAX : 048 - 824 - 2194

E-mail : a3600-02@pref.saitama.lg.jp (担当)

